児童に見られるつまずき

　商が小数になる除法があることを理解することができない

つまずき解消に向けた指導のポイント

　問題場面をテープ図や線分図を用いて表したり、各自が解いた方法を図を用いて説明し合い考え方を比較したりする活動を通して、被除数が除数より小さくなる場面のイメージや計算の仕方について理解を深めさせる。

指導事例集ｐ．４１

１　学年・単元名　　第４学年　　小数÷整数（数と計算領域）

２　単元目標

・小数の仕組みや計算のきまりを用いて、小数×整数や小数÷整数の計算の仕方を考えようとする。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（関心・意欲・態度）

・小数×整数や小数÷整数の計算の意味やその仕方について考えることができる。 　　　　　　　　 　　　（数学的な考え方）

・小数×整数や小数÷整数の計算ができる。　　　　　　　　　　　　　　　　　　（技能）

・小数×整数や小数÷整数の計算の意味やその仕方を理解できる。　　　　　（知識・理解）

３　単元の内容

参考：レディネステスト

・小数÷整数の計算の意味

・小数÷整数の計算の仕方

・小数÷整数の筆算

・小数倍の意味

４　本時の学習目標

（整数）÷（整数）で商が小数になる場合の計算の仕方を考え、説明することができる。

５　本時の展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学　習　活　動 | 指導上の留意点  **太字：つまずきに対する手立て** | |
| つ  か  む | １　問題場面を把握し、課題をつかむ。  ２ｍのひもを同じ長さに切って４人で分けます。一人分の長さは何ｍになりますか。  ・本時のめあてを知る。  計算の仕方を説明しよう | ・問題文を読み、わり算になることをおさえる。 |
| 考  え  る | ２　自分で考える。  ・言葉や図などを使い、考える。  2　÷　4＝0.5  ↓×10　　↑÷10  20　÷　4＝　5  2を10倍して20÷4の  計算をすると、5になります。  その5を10でわると、答えが求められます。  だから、2÷4＝0.5です。  2は0.1の20こ分です。  2÷4は、0.1が（20÷4）こ分です。  だから、2÷4＝0.5です。 | **・言葉やテープ図、線分図に表し、前時の考え方をもとにすれば計算できることに気づかせる**。  U:\08　各学年\08-4  ４年\平成２８年度\算数\小数×整数、小数÷整数\ｐ４６442.jpg  ・図をかきにくい児童には、ワークシートにかかせ、0.1の20個分になることに気づかせる。  ワークシート１使用  参考：記入済みワークシート１ |
|  |  | ・早くできた児童には、考え方が二つあることを助言し、もう１つの考え方を見つけさせる。  ワークシート２使用  参考：ノート、記入済みワークシート２ |
| 話  し  合  う | ３　グループで交流する。  ・言葉や図、式などを使い、自分の考えを説明する。  ４　全体で話し合う | **・グループで話し合い、自分の考えと相手の考えを比べ、相手の考えや説明の仕方で分かりやすかったことなどを交流させる。**  **・自分の考えと同じところや違うところがないか比べながら聞かせる。** |
| 確  か  め  る | ５　練習問題を解く。  ６　振り返りをする。 | ・0.1のいくつ分か、10倍するといくつになるのかを考えながら、計算させる。  ・学習を振り返り、分かったことを書かせ、本時の学習への満足感、成就感を持たせる。 |